

リツキシマブによる治療を受けられる方へ

●リツキシマブはCD20陽性の悪性リンパ腫に対して用いられます。単独または他の抗がん剤と併用して使用します。

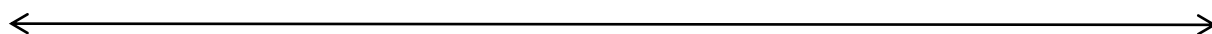
投与スケジュール

前投薬	1日目	2日目以降
抗ヒスタミン薬 解熱鎮痛薬	リツキシマブ	休薬期間

点滴の30分前に副作用を予防する薬を内服します。



はじめはゆっくり点滴を開始します。体調を確認しながらゆっくりと点滴速度を上げていきます。



- ・単独使用の場合：1週間あけて点滴します。
- ・他の抗がん剤と併用する場合：治療法により投与間隔は異なります。
- ・維持療法の場合：8週間を目安に点滴します。

※ 単独使用の場合：最大8回点滴することが可能です。

※ 維持療法の場合：最大12回点滴することが可能です。

主な副作用と発現時期

次のような症状が現れたら、医療スタッフにお知らせください。

※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

治療当日

●インフュージョンリアクション

数日～数週間

●白血球・好中球減少

◇インフュージョンリアクション

1回目の点滴

症状の多くは初めての治療中に起こります。注入速度を上げるときは特に注意が必要です。ほとんどの症状は治療が終わるころ、遅くとも1日たてばなくなる傾向にあります。

発熱、悪寒、頭痛、かゆみ、ほてり、血管浮腫、悪心、発疹、めまい、倦怠感など気になる症状があらわれたり、症状を強く感じた場合はすぐに医療スタッフにご連絡ください。

2回目以降の点滴

1回目にみられた症状も2回目以降は少ない傾向にあります。しかし、2回目以降に初めて症状があらわれる場合や、それまでとは違う症状が出ることもあります。

◇白血球・好中球減少：発熱、寒気、のどの痛み

38℃以上の発熱がみられた場合はすぐにご連絡ください。

外出時はマスクを着用し人ごみを避けてください。手洗い、うがいをこまめにしましょう。